

市報

やまぐち

No. 761

昭和54年

4月1日

市制50周年
記念特別号



明日を開く

山口衛星通信所で

周年を迎えて 市に寄せて

山口市は、四月十日に、昭和四年市制を施行して以来、五十歳の誕生日を迎えます。

この節目にあたり、市内の各層の方から、「今の山口市を見て、さらに何を望まれるか」をうかがいました。

市制施行以来の市の足跡については、四月十五日号市報とともに冊子「五十年の歩み」を全世帯に届けます。

それで、足跡は、特別号から削除しました。



市章

知恵を結集して――

山口市長 堀 泰夫



私はここで、自然保護か、開発かといった単純な議論をしようというのではなく、まちが型をかねていかなくはならない以上、そこに住む人が「住みよい」ように知恵を結集したいと思うのです。もちろん、市行政は、その先頭に立って、試案を示し、市民との対話を広めていかななくてはならないことはいまでもありません。

私は、先日、スペイン国、パンブローナ市を訪問した時、その郊外に開けたまちには、交差点には必ず噴水があり、街路には、樹木が植栽され、殺風景なコンクリート文明の中にも、緑と憩いを大切にしている町づくりが行われていることに感心しました。

山口市は、自然が多く残り、緑と土と清流は、山口市の持味であるとともに、誇りでもありましょう。

しかし、時代が進展するに従って、「そのまま」というわけにはいきません。道路も、ダムも、し尿処理場も、スポーツ施設も、あるいは大

一、坂川の改修のように、改修という時代の命題の前に、ホテルのつくる工法がとられ、樹木が残った知恵は、行政と市民の知恵が、凝集した結果でしょう。

住む人がただ、権利意識をふりかざすだけでなく、わがまち意識に目ざめ、知恵を出しあって、市の将来を考えていきたいと思っています。

伸ばそう明日へ 市民が築く山口市

新しい100年に向けて



山口市議会議員

重枝 経義

ますまい。そして、それは今日でも揺らぐことなく受け継がれているのであります。

あれからもう五十年、地方自治法が制定されてからも三十年経過しました。都市行政の需要は、多様化、増大化するばかりの現状です。

昭和四年四月、町制の名残りととどめる山口町と吉敷村が合併、山口市が誕生しました。まさしく執念だった市の命名が達成し、ようやく肩身が広くなったのでした。

市と名乗ってみても、商家の山口と農家の吉敷で、人口は僅か三万三千人でしたから単に市の名を冠した、というのが実態だったと思われまふ。

当時は、役所と学生と連隊のまち山口市でした。市制施行の大綱に、県庁定置・学都山口・道路交通機能整備の三項目を掲げ、挙市一体の推進を決意しています。

立市の目標を明確にしている先人の英邁と決断は、我々は忘れてはなり

山口市は、市制施行以来、起伏の道程をたどりましたが、立市の大綱に掲げた県都は、確固たるものとなりました。しかし、「学都山口」中核都市・定住都市づくりは、精力的に持続していかなくてはなりません。行政の任務は、重大です。

しかし、行政にまかせきり、求めるばかりでもいけません。住民も、行政も一体となって、これから百年へ向って、出発を誓いたいものです。

ひとこと

▼大江一人さん 〇〇・仁保・印章彫刻業

人づくりの時と場を充実し、さらに、強力な推進を。

▼梅田茂夫さん 〇〇・仁保・商業

歩道を狭くする緑地帯を考え、広く使ったら。

▼宝迫節子さん 〇〇・小鯖・商業

市立幼稚園の施設を十分に、職員を増員を実現してほしい。

▼渡辺米子さん 〇〇・小鯖・農業

山村地、へき地の道路事情をよくしてください。

▼中川和世さん 〇〇・大内・主婦

人の心も空も美しい町、そして施設が整い魅力のある山口市を望みます。

▼藤田敏子さん 〇〇・大内・農業

水道・ガス・下水道等の設

市制施行50

明日の山口

山口市民憲章

- 一 自然をたいせつにし美しい環境を守りましょう。
- 一 スポーツに親しみ健康なからだをつくりましょう。
- 一 互いに助け合い生活を豊かにしましょう。
- 一 きまりを尊び良い風習を育てましょう。
- 一 郷土を知り文化財の愛護につとめましょう。

心を広く、目を開こう

十数年前、山口に来た時、歩いた街はたいへん気に入りました。今の山口はだんだん発展してきましたが、それにづれて、山口の味がなくなる感じがします。

文化の程度が高いというところは、近代的な施設などが多くあるということばかりでなく、古い物を大切にすることがどうかというところでもあります。昔でなくとも、大正時代

山口の観光といつても、よくわかるもの、目で見える形のものがない。山口特有の料理もないようです。歴史の町というなら、古い名産名物をもっと見出す必要がありましよう。

山口は環境にめぐまれていますが、一面盆地に住むと、せまい心になりやすいですから、心を広く、目を大きく開く努力が必要でしょう。



山口カトリック教会主任司祭
ルナ神父 (49)・亀山町

ものでも百年たてば、かけがえのないものになります。



初代市議会議長
萬代 亀四郎 (84)・大蔵大路

国鉄本線の通らない山口市は、市制発足当時から、道路の整備が必要であるといつて、いろいろ努力しました。小郡から湯田まで、国道の新設をしたのもその頃です。防府から山口への省営バスの

運行は、全国で二番目にできたものでした。今は、道路も整備され、高速道路もでき、本間に県の中心都市にふさわしくなりました。この道路網の上に、新しい都市造りが必要でしょう。また小郡との合併も考えねばなりません。それがお互いの地の将来の発展につながるでしょう。さらに、やはり都市ですから、若い人の働き場も考えて、山口にふさわしい工場の誘致も考えてもらいたいものです。

達した発足時の目標

心のつながりを大切に

現在の山口の町は、県都というにふさわしく、官庁、商店、住宅の建物も近代的になり、自然環境の美とあいまって、西の京というにふさわしいように見えます。

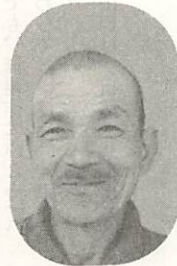
しかし、一見そう見えても、この町に生活している住民はどうでしょうか。近頃は物質的に、めぐまれているのか、自分



市連合婦人会長
末永フミ子 (84)・仁保

のことがばかり考える人が多くなったようです。心のつながりを大切にする市民をつくることを、お互いにもっと真剣にとりくむべきです。

社会づくり、家庭づくり、人づくりの政治がもっともっとほしいです。お金が多くても、心が貧しくては、人間の本当の幸福はありません。本当に良い郷土というのは、心豊かな人の住む町のことだと思います。



構造改善 〆元
年々であれ
市農業委員会
野村常夫 (84)・鏑銭司

農業も幾多の〆曲り角を経験しながら、時代、時代の要請に対処してきたといえます。

そして、現代は、米の余剰傾向を背景に、農業は低迷、沈滞の中にあり、農家自身も中途半端な感じはぬぐえないように思えます。

けれど、農業はきつと、〆陽の目をみる日が近い将来やってきます。山口市の農地は、いい生産条件を備えており、そのために、農業の構

造改善を長期の展望にたつて進める必要があります。そうはいっても、現実は大規模な事業はとて無理で、ミニ・構造改善をつみ重ね、これを結ぶことにしたらよいのでは一と思っています。

市制五十年は、農業のミニ・構造改善の元年として、新しい時代の農業への基盤づくりをしたいものです。

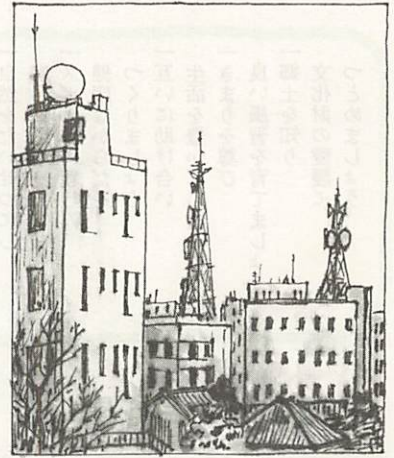
- 備を、大内地区にも早く実現させてください。
- ▼藤井美枝子さん (41)・大蔵・主婦
 - お隣同志、心を開いて話し合える地域作りを。
 - ▼三宅千代子さん (64)・大蔵・主婦
 - これからも、古きよきたたずまいを活かしたまちづくりを進めたいものです。
 - ▼徳本繁子さん (84)・白石・主婦
 - 「そこに行ったら何か出来る」そんな若者達の施設を。
 - ▼下瀬武雄さん (84)・白石・写真家
 - 山口は学都といわれているが、市民が自由に使用できる野外音楽堂や展示場などの文化の広場を。
 - ▼藤林孝さん (40)・湯田・獣医師
 - 学都山口／郷土の子らに夢をもちつづけ育てたい。
 - ▼河畑和子さん (47)・湯田・主婦
 - 山青く、水清く、永遠の心のふるさと山口を大切に。
 - ▼田淵洋美さん (84)・宮野・主婦
 - 緑と清流と情緒、そして青空を失わぬ市政を望みます。
 - ▼藤屋隆さん (61)・宮野・会社員
 - SLが走るが如く、市政のレールも健全であれ。
 - ▼佐谷穂さん (64)・吉敷・無職
 - 自己以外は、すべて師なり温かい心のふれあいを大切にしたい。

山口市の歌

一山の都と誰かいう
雪舟の庭 瑠璃光寺
くずれ築地もなつかしく
大内文化はなやかに
西の都とうたわれし
昔を今に伝えたり
ゆかし我が山口市

二旧き都と誰か言う
長州の志士寄り集い
世界の日本つくりたる
明治維新の策源地
新日本のさがけと
うつぼつの氣を秘めたるを
ゆめし我が山口市

三海の都となさんかな
山の都は大港
湯田のいでゆのにぎわいも
瀬戸内海の花たらむ
大いなる夢 夢ならじ
なさればならず なせばなる
たのし我が山口市



分離しなくてよかった

元市議会議員

山本周 一 (79)・秋穂二島

昭和十九年の大合併は、南部に、一大工業地帯を興そうとの発想で、実現したものでした。その夢が破れて、その後、幾度か分離問題にゆれました。

私は、できるだけ多くの旧村民が助け合い、行政も広域的な進め方が効果的と考え、分離反対期成同盟会を結成して、分離しないよう、運動してきました。

その後、二島の開拓パイロット事業、県道改修など、大きな事業が成功したのは、近隣旧村の人たちの利害を越えた協力があつたからこそで、「分離しなくてよかった」との実感が強いのです。

市政も南部に目が向き、五十周年の誕生を迎えたことはうれしい限りです。



社会の弱者に 手をさしのべる

市盲人協会副会長

林

水の上町 収 (64)

市制施行以来五十年、何か大きな節目を感じます。

二・三年前、「福祉元年」といわれ、視覚障害者の私たちにも、福祉の手が多くなつたことは、うれしいです。

特に点字市報が発行され、県立の点字図書館が利用できることは、情報を得る手段で、盲人の私達には、便利です。しかし、細かい配慮、例えば、足で触ってわかる道案内



暖かい気持が、社会的弱者の私達にはうれしい。こんな明るい山口を期待します。

自然と共存して

山口の町は、特にこの大蔵地区は、このままでよいです。発展などといって、無理な計画をすることは、山口の為にありません。

長い歴史の中で、はぐくまれ、育ってきた山口の町並などでも、無難作にいらつて、こわしてはいけないと思います。

山口は、自然と共存している街です。この歴史的景観をよく保護し、先人の気持ちをうけついで住みたいものです。



法界寺住職

辻田 稔次 (61)

下 豎小路

幸い山口市は県都ですから生産工場が多くないといつても、やっていけます。

南部地区は広い土地もありますから、山口にふさわしい生産工場を考えてよいでしょう。その発展があれば、北部も自然と発展し、良い町となるでしょう。

歴史の遺産— 生活と裏腹

元市社会教育委員

藤本 春子 (67)

佐山

市内の歴史的遺産は、風格、気品があり、市民の一人として誇りにしています。

そしてそれは、まぎれもなく国民的遺産です。ところが自然と歴史的な風土の残るまちは、市民が所得をうることで、生活の利便を求める場合は、このことは、裏腹にすることも多い。この国民的遺産を山口市民だけに守れと背負わせることは酷と思います。

農業、工業の産業的な助成と同様、このようなまちに対す



この考えが間違でないのなら、市制五十周年の誕生日に際し、私は、全国の類似したまちとともに、これを要求する市民運動をおこなうことを、提案したいと思っています。

これがまた、山口市の風土を守ることになるのでしよう。

ひと言

▼蔵重昭子さん (83)・吉敷・主婦

細々と、もの静かな市政が何かもの足りない。

▼清水ヒサエさん (60)・平川・主婦

老人を大切に、住みよい環境づくりを望みます。

▼藤原律子さん (88)・平川・事務員

住宅化に伴う迅速なる生活基盤整備を図りたい。

▼野村正夫さん (85)・大蔵・農業

緑多き環境に恵まれた山口市の条件を、大きく活かしたい。

▼安富藤子さん (83)・大蔵・主婦

河をきれいにし、県都の品位を維持しましょう。

▼原田利清さん (83)・陶・農業

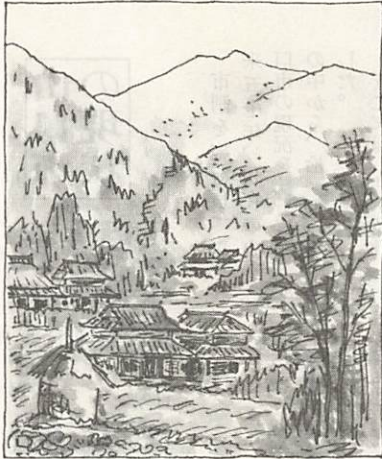
栄え行く五十年の山口市、さらに躍進を願う西京山口、湯田温泉。

▼吉野始さん (64)・陶・農業

山口市はさらに南進し、新幹線を考える市政を。

▼長田浩さん (40)・鋳銭司・会社員

中央重点の市政ではなく、各地平等な環境づくりで、健全な市政の発展を望む。



山口市民の歌

一鳩の歌からあけそめて
いらかほのほの匂いたつ
こは山口 平和の都
伸びる家並もうららかに
咲いた桜に 日が昇る

二国の歩みに魁けて
文化ゆたかにみちわたる
こは山口 理想の都
民主明るいよるこびに
山も微笑む 日本晴

三椿野をめぐるみどり野の
幸をくみ合い睦み合う
こは山口 希望の都
ちまたゆるがす 生産の
意気に日毎の夢を呼ぶ

四京の栄えをそのまに
街にわきたつ湯のかおり
こは山口 歴史の都
あける絵巻もなつかしく
花がささやく 代々のあと



市子ども会育成連絡協議会長
勝間田吉治 (60)・嘉川

子どもの 社会参加を

無感動、無関心、無責任、無気力のいわゆる四無の子が、やたらに目立ちます。「感性的の度合によって、人間ができる」ことを考えれば、そろそろそろしいです。今こそ、行政も、学校も、地域社会も、もともとつとこのことを正視する必要があります。はしないでしょうか。キャンプファイヤーなどを

すると、子どもは、生き生きとします。こんな機会を、子どもの社会参加をつくって、情操をはぐくみたい。子どもは社会の宝、次代を担うものです。ましてや、次代は、老齢化社会となります。その頃、冷たい、情感に乏しい社会人ばかりに囲まれた社会は、味気ないでしょうか。



山口松下電器KK工場長
叶 亮 (44)・大歳

いい人材に 恵まれて

県・市の誘致で当社が山口に立地して十年目、一つの節目を迎えた年が山口市制五十周年目とは、因縁めいたものを感じます。

この十年間、地域社会にいささかの功績をしたい、地域と共に伸びたい、と考えやってきました。幸い、すぐれ

た人材に恵まれました。純粋で気骨のある従業員が多い。これらは、教育界といわれる山口の風土に根ざすものでしょう。この土壌は、失いたくないものです。産業人として、市をみれば、県外・県内へ交通は、発達していますが、市内交通便の不便が目につきます。また、工業を例にとれば、ベースとなる企業ができて、これに関連した業種、いわゆるすそ野となる業種が少ないうらみがあります。

活気のあるまちづくり



山口青年会議所理事長
杉本 寿昭 (67)
道場 門前

山口市は、私が生まれ育ったところ、住むには大変良いところです。ところが、三次産業が中心となつていいるため、雇用力が乏しく、職業の選択範囲も狭いことが欠点です。市外に働きにでた若者も、「郷里で働きたい」と思っている人も多いのですが、思うようにいかないので現実です。これからの山口市の命

題は、産業を活発にして、活気のあるまちづくりをすることではないでしょうか。もう一つ。市民祭りの創造を提唱します。山口の既存の祭りは、全部神様に関係した祭りのため一般市民が参加するには少し抵抗があります。市民が企画し、だれでも自由に参加ができ、楽しめる新しい型の祭りを作りあげ、これを後に伝えたいものです。

地の特色を生かして



大内けし製作所
原田 文枝 (65)・大内

大内の地区も、大きな道路が何本も通り、工場ができ、住宅がふえて、ずい分変わってきました。町の発展ですから、それでよいのですが、やはり古い歴史遺産のある大内とか仁保とかいう地は、十分にそれを大切に、開発をしたいものです。思いつきの開発ではなく、水資源や自然景

観をよく考慮に入れて、しっかりと計画のほしいものです。いま民芸品の人形を造っています。量産はできませんが、本当の手づくりの味をとがらばっています。山口に來られた観光客に、山口でなければという山口の良さを知ってもらうためにも、真心のこもった土産物を造りたいと思います。

兼行實さん (67)・鑄銭司・会社員

歩み続けて五十年、歴史と共に栄えてきた大山口市、さらに力強く前進を。

木村恒之さん (60)・名田島・団体職員

生活環境の整備を南部地域へも拡げて欲しい。

河村一男さん (45)・名田島・農業

人の和、緑豊かな名田島農村地域の光景を学ぼう。

山賀實作さん (64)・秋穂二島・農業

五十年を期に、小郡町を合わせて大山口市の構想を...

福永義人さん (60)・秋穂二島・農業

あせらずに、長期構想をもつて、南部も含めた街造りをすすめよう。

若崎道頼さん (60)・嘉川・商業

交通渋滞の解消のためにも通勤は、市営バスを利用しましょう。

宮崎昭さん (62)・嘉川・商業

中心部を遠くはなれた地域こそ、行政の温い手を差しのべる配慮がのぞまれます。

河村壮平さん (62)・嘉川・団体職員

五十路に輝く山口の街や麗わし。いざこれより辺境にも厚き光を。

浜中富美子さん (43)・佐山・農業

ふるさとに、生きる若者たちに、責任のある職場の開発を...

山口市の現状

五十歳の誕生日 累積した社会資産の数々

市制を施行して以来五十年、現在の山口市の現況を統計資料の中から、拾ってみました。

そこには、古い文化遺産が随所に残り、緑、清流といった自然が多くある山口市内の中にも、新しい時代への鼓動が脈うっている姿があります。

11万人の市民 ただずまい

土地

357 km²

林野率 66 %

山口市は南北に細長く、面積は三百五十七平方メートル、全国の県庁所在地で十番目に広い市域を持ち、仁保、小鯖、大内、宮野、山口、吉敷、大蔵、平川、陶、鑄銭司、名田島、秋穂二島、嘉川、佐山の十四の旧町村地区からなっています。

総面積のうち、約六十六割は林野で、これが山口市の緑、清流をはぐくむ要素となっているといえます。

耕地面積は、約六十四平方メートル、宅地は、十三平方メートル、山林、耕地の割合が高く、人口の集中している地域約七平方メートル以外は、ゆつたりとした土地利用の感じを与えています。

人口

11万人

三次産業で多く働く

人口は、約十一万人、市街地を形成する山口に四万人、仁保、小鯖に六千八百人、市街地郊外の大内、宮

産業

三次産業が圧倒的

農地 6400 ha

野、吉敷、大蔵、平川に、四万二千三百人、南部地域に二万一千人となっています。ここ数年の人口動態は、年間約千五百人生まれ、死亡が約八百人、転入、転出の人口増減が二百人から五百人プラスで、人口の微増傾向が続いています。働く市民は、約五万三千人。その産業別構成比は、一次産業十八割、二次産業十七割、三次産業六十五割で、産業別にみれば、多い方からサービス業、商業、公務の順で、三次産業で働く人が多くいます。

就業人口五万三千人のうち、約七千二百人は、他市町村に通

勤して働いています。

昭和五十一年度中に市内で生産された所得は、千三百六億円余で、一次産業で五割、二次産業で二十二割、

他は、三次産業でもたらされている現状です。

農業は、約七千戸の農家で、六千四百割の農地、稲作中心農業が行われ、仁保、秋穂二島、鑄銭司に果樹が栽培されているほか、野菜生産もさかんです。

特に、南部地域の約千五百割の開作地を中心とした農地は、県下でも有数の集団優良農地となっています。

工業は、二百四十の事業所で年間約四百六十六億円の出荷額



空からみた山口市の中心市街地。古い家並みの中にも、高層のビルが目立つようになり、新しい時代への息吹を感じさせます。

交通

国・県道 34 路線

市道 500 本

(山口同四十二本)の四つの鉄道が走っています。

その一日平均乗降客数は、四辻七百人、深溝四百二十人、山口三千二百人、宮野三百四十人です。バス交通路線は、六社、三十一路線がふくそうし、市営バスは、九路線で、一日五千七百回走り、平均一万五千人を輸送しています。

一方、道路網は、国道が二号、九号、一九〇号、二六二号、三七六号の五路線、実延長約六十九。県道が二十九路線、実延長百六十五。で、まさに県外や県内との交通網は、四通八達

をあげ、また、商業は、二千四百余の店舗で、千六百億円の販売額をあげています。また、市内には、湯田温泉があり、旅館等が約百軒、年間約七十九万人の宿泊観光客が訪れています。

学校

幼稚園から各種学校まで

69校 生徒約27,000人

市内に、

幼稚園二十園(園児三千)、小学校十八校(児童九千三百)、中学校十一校(生徒四千三百)があります。

高校は、四校(生徒三千七百)あり、大学は、山口大学と山口女子大学があります。

山口大学は、人文、理学、教育、経済、医学、工学、農学の七学部(在学生約六千人)があり、医学、工学部の専門課程は、宇部市にあります。

山口女子大学は、文学部、家政学部の二部で、一学年の定員は、百六十人です。

このほか、洋裁、看護、自動車などの専修学校、各種学校が十三校設置されています。

医療

病院・診療所 104

病床数 1,600床

市内に十一の病院、九十三の一般診療所、二十三日の歯科診療所が設置され、医師は百四十人、歯科医師が三十



秋穂二島・宮原山からみる秋穂二島、名田島の開作地帯。肥よくな農地は、祖先から受け継いだ貴重な財産であるとともに、山口市の「緑のふるさと」でもあります。

357km²の市域に 田園都市の

福祉施設

幅広い施設

27施設

人、薬剤師が百十二人、保健婦が三十三人、看護婦が五百五十五人おり、市民の健康管理、治療に当たっています。

福祉施設は、市内に二十七施設あります。養護老人ホームが市立一、特別養護老人ホームが法人立一、福祉センターが市立一、老人憩の家市立二があります。

身障者更生援護施設は、県身障者福祉センターがあり、知恵おくれの人たちの施設として、法人立の二施設があります。

児童向けには、母子寮があるほか、保育所が十三、養護施設が二か所あります。

環境衛生

ごみ処理35,000トン（年間）

し尿は汲取り処理

このほか、情緒障害児の治療の県立の施設があり、県立育成学校も、昭和二十三年から開設されています。

山口市・吉敷郡内に公衆浴場が二十二、理容所が百八十、美容所が百四十四、クリーニング所が百一開設されています。

市内からでるごみは、年間約三万五千ト、約三十台の車輛で収集し、可燃物は、大内の清掃工場で焼却処分、不燃物は、木戸山と二島の処分場で埋め立て処分をしています。

一方、し尿処理は、汲み取りの二業者を指定し、富田原町に

公園

18か所

46ha

ある市営し尿処理場で処理をしており、この年間処理量は、三万六千トとなっています。

市内に、県立、市立法人立などの公園が十八か所、四十六公設、市民憩の場となっています。

特に、香山、龜山阿公園は、観光名所の一つでもあります。

水道

年間1,095万トン

普及率76%

団、川西地区が簡易水道会計で運営されています。

山口上水道は、四つの伏流水源（水利権最大七万一千ト）から取水、約二万世帯に年間約九百五十万トの水を供給しています。

山口市、秋穂町水道企業団は、小郡町から給水を受け、約三千世帯に、年間百万トの水を送っています。また、川西簡水も千八百世帯に、

新しい時代の息吹き 大型事業も次々と

ダム 天花畑一の坂川ダムが築造中で、荒谷ダムも事業にかかります。

高速道路 山口まで開通した中国自動車道は、現在市内を含め、鹿野町まで工事中です。また、山陽自動車道（吹田―山口）の市内路線も、近く工事にとりかかる予定です。

国・県道 九号国道山口バイパス、二六号国道大内―宮野間の、バイパス工事が進行中です。

公共下水道 昭和五十七年の供用開始を目指し、湯田地区を中心とする公共下水道工事が進んでおり、市浄水センターの建物工事は、ほぼ終わっています。

埋蔵文化財センター 建設計画が進んでいます。

運動広場 市民運動広場が市内、嘉川で工事中、計画中です。

し尿処理場 近代的なし尿処理場の建設計画が進んでいます。

文化財センター 亀山公園東側に、県の埋蔵文化財センターの建設計画が進められています。

文化財

宝庫

指定94件

年間五十五万トの水を給水しており、山口市水道普及率は、七十六割となっています。

市内には、国宝瑠璃光寺五重の塔をはじめとして、国・県・市指定の文化財が九十四件もあります。

その中心は、今から六百年ばかり前に栄えた大内文化遺産ですが、時代も古代の陶窯跡から、明治維新に至るまで、年代を追ってあり建造物、史跡の多いのも山口市の特色です。

これらの文化財のうち、市内に散在する神社、寺院は概して

概観

緑と歴史の

大きな社会資本

老樹におおわれた森を形成している場合が多く、山口のまちの雰囲気づくりに、大きな役割を果たしていますし、観光資源の一つにもなっています。

まち全体に、歴史のにおいと緑がおおい、しっとりとした雰囲気がかもしだしているといえるのが、いまの山口市の全体の印象でしょう。

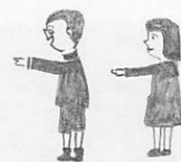
そして、その中に、生活向上のため、道路や施設といった数々の社会の資産が、積み上げられてきており、これらは山口市の大きな財産といえます。

流通センター 大蔵朝田に県流通センターを設置する事業が進んでいます。

農業基盤整備 仁保、名田島で、ほ場整備が進行、計画中のほか、名田島で洪水防除事業が進んでいます。

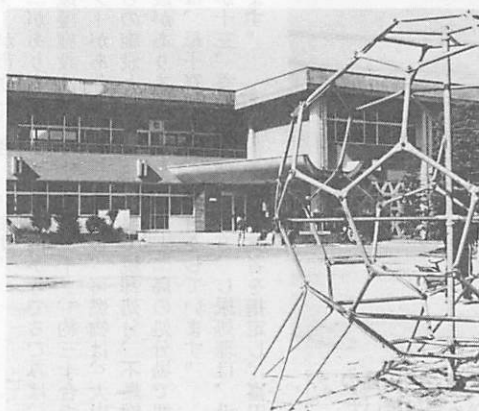


学校、バス、水道を除く、身近な市営施設のいくつかを紹介します。
これらの施設自体は、近年できたものが多いのですが、そのもとは、昭和の初めにさかのぼるものもあり、市制五十年の流れの中に生き続けているようです。
これらは、市民の共通の財産であるとともに、より充実して、次の世代に引き継ぐものでもあります。



より充実させて 次代に残す市民の財産

市営施設の紹介



▷ 福祉センター（老人福祉館・児童館）

上野小路にある福祉センターは、老人と子供の施設で、老人の各種講座、娯楽、健康相談などが行われ、児童向けには、読書、遊戯室などがあり、児童福祉の場として利用されています。また、ボランティアの集会、訓練の施設として活用されています。

△ 市民会館

中央二丁目にある山口市市民会館は、千八百人収容の大ホール、五百人収容の小ホールと大ホールロビーからなり、連日、各種の催物が行われています。



◁ 児童文化センター

湯田温泉五丁目にある同センターは、児童向けの各種講座が開かれるほか、児童図書館も設置されています。

▷ 老人憩の家

寿泉荘（湯田温泉五丁目、嘉泉荘（嘉川）があり、いずれも、温泉つきの施設です。



（嘉 泉 荘）

▷ 公園

市が管理する公園は、都市公園が十七で、このうち、十一が児童公園です。



（高 田 公 園）

▷ 体育施設

野球場（中園町）、柔剣道場（古熊）、野外活動広場（小鱈）があり、川西中・二島小運動場に夜間照明施設があります。



（小鱈市民野外活動広場）

ガレキ処分手数料が整理券に

仁保・木戸山、秋穂二島・惣在所のガレキ処分手数料が、4月1日から、整理券にかわっています。市衛生課または、清掃事務所で、整理券を購入してご利用ください。

市制50周年記念 文化協会10周年

四月十日・十一日 総合華展・美術展

市では市制五十周年を記念して、四月十日に市民会館において市制五十周年記念式典を行います。

創立十周年を迎えます。これを記念して山口文化協会では、加盟団体による総合華展と美術展等を開きます。入場料は無料、お気軽に来

場ください。
。期日 四月十日・十一日午
前九時から午後六時まで
。場所 市民会館大ホール、
小ホール、展示ホール
。展示内容
。小ホール
。お茶席 小笠原流煎茶の会
。柴山流松濤会
。展示ホール
。華道 池坊
。草月流

。大ホールロビー一階
。写真展 山口市五十年のあ
ゆみ
。俳画 山口砂丘俳画会
。染色 染色山口会
。木彫・レザークラフト・七
宝焼・フラワー 山口造形
学院
。大ホールロビー二階
。写真展 全日本写真連盟
日本報道写真連盟
山口カメラクラブ

▽駐 車 場

中央駐車場(亀山町・三百六十台)
中河原駐車場(中河原町・三十台)
駅前駐車場(駅通り二丁目・百三十台)があります。

▷公 民 館

十四地区に全部、公民館の館が設置され、特に陶は、出張所と合同の館で市民センターと呼ばれます。



(陶市民センター)



(中央駐車場)

(陶 隣 保 館)



△ 隣 保 館

隣保事業を行うため、山口隣保館・陶隣保館の2館があります。

▷ 環 境 衛 生 施 設

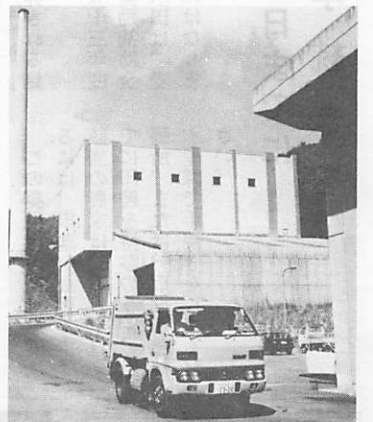
持込みガレキの処分場が木戸山、二島に、ごみ焼却場は、大内にあります。
また、し尿処理場は富田原町に設置されています。

▽ 市 営 住 宅

市内に、九百十八戸あり、二百四十二戸は、アパート形式です。



(宮野市営住宅)



(清掃工場)

春の狂犬病

予 防 注 射

。犬は年1回の登録と春秋2回の注射が義務付けられています。次のとおり予防注射を行いますので、登録と注射をお受けください。

<料金>登録料 2,000円、注射料 1,200円

。なお、獣医個人注射の場合、1,800円、往診料は別途です。

月日	地区	場 所	時 間
4月9日	大 歳	和田公堂所 出張原公会堂	9.20~9.50 10.10~11.40 13.20~15.30

4月9日	銭司	和出	西村	会会	館館	9.30~10.30 10.50~11.40 13.20~15.40
4月10日	平川	福指	良平	公井	会会	9.20~10.10 10.30~11.30 13.20~15.00
4月11日	大 殿	天瑠	花瑠	畑光	公駐	9.20~9.40 10.00~10.30 10.50~11.20 13.20~14.20
4月12日	湯 田	心龍	清保	泉健	寺所	9.10~9.40 10.00~10.40 11.00~11.40 13.20~13.50 14.10~14.40
4月13日	湯 田	隣保	井上	公園	館入	9.10~9.30 9.50~10.40 10.50~11.30 13.20~14.10 14.20~14.50

4月12日	湯田	心龍保赤熊 清健妻野 泉所地神 寺前 前寺前場前	9.10~9.40 10.00~10.40 11.00~11.40 13.20~13.50 14.10~14.40
	大 殿	光野石古教 田石觀熊育 台神觀神會 社樣神社館 寺前前前前	9.10~9.40 9.50~10.20 10.30~11.10 13.20~13.50 14.10~15.00
4月13日	白石	萬山佐徳 泉警本部 中央丁目中電アパート前	9.10~9.50 10.00~10.40 10.50~11.20 13.20~14.00
	湯田	隣井上保館 兒童文化セン 福山壽園 福山口高 前入口一前裏	9.10~9.30 9.50~10.40 10.50~11.30 13.20~14.10 14.20~14.50

一般会計予算規模 百六十四億三千六百万円

三月一日に開会した三月定例市議会は、初日提案された三十五議案と、追加提案された監査委員の選任など三議案を原案通り可決、二十日に終わりました。

新年度の一般会計予算の規模は、百六十四億三千六百万

円、前年の当初予算に比べ、十五・七割の伸びとなりました。

なお、新年度予算の内容は、次号でくわしくお知らせしますが、今議会で決まった予算を除く主なことは、次のとおりです。

福祉センター、火葬場の業務・管理を委託
市児童館・老人福祉施設条例と、市営火葬場条例の一部改正され、管理・業務を委託できることになりました。

このうち、福祉センターは、四月一日から、山口市社会福祉協議会に委託しました。

職員定数を
十一人減員
職員の定数を、市長部局十四人減、交通局を三人減、水道局を二人増、教育委員会事務局、消防をそれぞれ二人増の条例の一部改正が行われ、職員定数は十一人減員となりました。

陶丸尾簡易水道の運営
水道企業団に移管
昭和三十五年以來、市の特別会計で運営管理をしていた陶丸

昭和五十二年
決算の認定
昭和五十二年一般会計や特別会計の決算が、市議会の認定を受けました。

この決算報告は、次号に掲載いたします。

山口・小郡地域
広域水道企業団の設立
上水道の水源を供給するため山口市・小郡町・秋穂町・阿知須町が、一部事務組合を設立することについて、市議会の同意を得ました。

四十二路線を
市道に認定
県道編入や、起点、終点をかえて認定するもの十七路線を廃し、新たに次の四十二路線が市

市議会(定例会)の結果

五十二年度一般会計に三億六千余万円追加
清掃庁舎建設費(六千万円)、児童公園建設用地取得費(四千五百七十万円)などを減額したのに対し、バス事業再建補助金一億五千三百十萬円、職員手当四千八百萬円、開発基金積立金、県事業負担金、下水道事業

追加となりました。
この結果、昭和五十三年度の一般会計予算規模は、百五十四億二千七百二十萬円となりました。

を設置した場合、最初の年度の固定資産税額の五倍相当額を助成しています。
ところが、この条例は、昭和五十四年三月三十一日まで適用となっていました、このたび

尾簡易水道は、四月一日から、山口市・秋穂町水道企業団に移管されました。
監査委員に中村豊氏
監査委員に中村豊氏の選任が決まりました。

昭和五十二年
決算の認定
昭和五十二年一般会計や特別会計の決算が、市議会の認定を受けました。

この決算報告は、次号に掲載いたします。

山口・小郡地域
広域水道企業団の設立
上水道の水源を供給するため山口市・小郡町・秋穂町・阿知須町が、一部事務組合を設立することについて、市議会の同意を得ました。

四十二路線を
市道に認定
県道編入や、起点、終点をかえて認定するもの十七路線を廃し、新たに次の四十二路線が市

麦作奨励金

10^アル当たり

六千円が出ます

麦作振興地区内(仁保地区を除く山口市全域)に、今年の五月一日現在、麦を

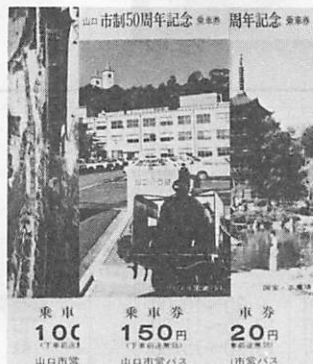
「水田裏作麦作付奨励金」が交付されます。
作付奨励金は、十^アル当たり六千円で、このほか、今年から一^アルをこえた作付けについては、補助金が十^アル

当たり八千円加算される見込みです。
ただし、昭和五十三年度の水田利用再編奨励補助金の交付を受けた水田は、麦作奨励金の対象にはなりません。

この奨励金の交付を受けるには、申請が必要です。
該当の農家は、四月十日までに印鑑を持参のうえ、出張所、または、市役所農林水産課で手続きをしてください。

四月十日までに

手続きを



市営バス

市営バスでは、市制施行五十周年記念行事の一つとして、次のとおり、記念乗車券を発売します。

価格 一組三枚 三百七十円

開始日 四月十日から

場所 山口駅国鉄バス乗車

券発売所、山口センタービル同、湯田温泉同、新幹線口バス同、山口市営バス小郡案内所同、市営バス営業課

問い合わせ 山口市交通局 営業課 二二五五へ

市営バス

市制五十周年記念

乗車券を発売

市役所、SL、五重塔、雪舟庭の写真を配した市営バスの記念乗車券。

市制五十周年記念

乗車券を発売

市役所、SL、五重塔、雪舟庭の写真を配した市営バスの記念乗車券。

市制五十周年記念

乗車券を発売

市役所、SL、五重塔、雪舟庭の写真を配した市営バスの記念乗車券。

市制五十周年記念

乗車券を発売

市役所、SL、五重塔、雪舟庭の写真を配した市営バスの記念乗車券。

市制五十周年記念

乗車券を発売

市役所、SL、五重塔、雪舟庭の写真を配した市営バスの記念乗車券。

市制五十周年記念

乗車券を発売

市役所、SL、五重塔、雪舟庭の写真を配した市営バスの記念乗車券。

市制五十周年記念

乗車券を発売

市役所、SL、五重塔、雪舟庭の写真を配した市営バスの記念乗車券。

市制五十周年記念

乗車券を発売

市役所、SL、五重塔、雪舟庭の写真を配した市営バスの記念乗車券。



白バラ
だより

四月八日 山口県議会議員選挙

さる三月二十七日告示された山口県議会議員選挙の投票日は四月八日です。

候補者の政見や抱負をよく見よく聞き、よく考えて、みんな投票に参加しましょう。

△投票時間▽ 午前七時から午後六時まで。

△入場券▽ 投票には、郵便ハガキでお届けしている入場券の県議選用のものを切りはなして持参してください。

万一、入場券を紛失されたときでも、投票できますから、投票所で申し出てください。

△投票所▽

出張所地区の投票所は、秋穂二島第二投票所が長浜部落公民館にかわったほかは、従来と変更がありません。

なお、旧市内の投票所は、次のとおりです。

▽第一 天花畑公会堂

▽第二 県立山口図書館研修室

▽第三 野田学園会議室

▽第四 大蔵小学校講堂

▽第五 市役所市民ホール

▽第六 白石中学校屋内体育館

▽第七 ふしの会館

▽第八 刑務所武道館

▽第九 湯田小学校講堂

なお、昭和五十二年の参議院議員選挙の時の第七投票区山口

保育園は、今回からふしの会館に変更されます。

× × ×

入場券に記載してある投票所をまちがわれないよう確認しておかけください。

△問い合わせ▽

選挙に関する問い合わせは、市選挙管理委員会事務局(市役所三階電二四一一、二二一一)へ。

市議選

選挙人名簿の縦覧

四月二十二日の市議会議員選挙にあたり、新たに選挙人名簿

に登録される人の名簿を次のとおり縦覧します。

市議会議員選挙

不在者投票の受け付け

。期日 四月十二日(十六日)。
。場所・時間
△市役所本庁▽
午前八時三十分～午後五時
△市役所各出張所▽
通常の執務時間

× × ×
印鑑と投票所入場券を持参してください。

日赤・済生会病院が当番病・医院の後援

外科系 救急病院制度が始まる

四月一日から、日曜日、祝日当番医で病状が重いと診断され、手術や入院が必要となるとき、日赤病院や済生会病院(外科、整形外科)に受け入れてもらうことになりました。

しかし、直接両病院で受診するのではなく、必ず当番医の紹介によることとなっています。

日曜・祝日の病気のときは、次のことを守ってください。

。当番の病院、医院を利用する。必ず、午前八時三十分から午後五時三十分までの受診時間を守る。

。平素からかかりつけの医院をつくっておく。

。医師の指示をよく守る。

。土曜日・日曜日、祝日の前には、自分や家族の体調をよくチェックする。

この基本的なことが守れないと、折角の制度が維持できなくなるおそれがありますので、市民のみなさんご協力をお願いします。

市制五十周年に

記念たばこを発売

日本専売公社では、山口市制五十周年を記念して山口市とその周辺で、四月十日から記念たばこを発売します。

銘柄は、マイルドセブンで、デザインは、市庁舎のカラー写真と、五重の塔・サビエル教会をイラストしたものです。

国民年金

定額保険料

五百七十円引き上げ

国民年金の定額保険料が、四月から、一か月五百七十四円引き上げられ、三千三百円になります。

年金額の増加に伴い、引きあげられたものです。

希望して納める付加保険料は、これまで通り、一か月四百円に据置きとなります。

なお昭和五十三年度分(五十三年度四月～五十四年三月)の国民年金保険料の納期は、四月二十八日までです。

保険料を納めていないと、事故や病気などのときにもらえる障害、母子、遺児年金等がもらえなくなりますので、市指定の金融機関に納めてください。



万物新生の春となりました。野に山に花は開き、鳥はうたう心のどかな月です。進級、進学、就職と新しい出発の月、希望の月、その4月です。

— 4月のこよみ —

■さくら 暖冬であった今年は、さくらも早いといわれますので、上旬が見頃でしょう。香山公園、後河原、木戸公園などが市内では花の名所です。

■入学 今年小学校へ新入学の児童は1,725人。入学式は名田島小学校が9日、その他は10日。入学おめでとう。

■花まつり 8日 仏教の開祖釈迦の誕生日。仏生会ともいい、諸寺では花御堂をつくり、甘茶の接待をします。

■天皇誕生日 29日 天皇の誕生を祝う国民の祝日。皇居では一般参賀などが行われます。ことしは29日が日曜日ですから、翌30日が振替休日です。

・2日図書館記念日 ・4日受林日
・6日から春の全国交通安全運動
・10日婦人の日 ・14日からポスト愛護週間
・18日発明の日 ・20日から郵便週間、切手趣味週間
・30日メーデー前夜祭

勤労者緊急小口資金 貸付けが始まる

いわゆるサラ金被害の未然防止のため、「市勤労者緊急小口資金貸付制度」が4月1日から始まります。

対象は、市民で同一事業所に1年以上勤務する成人。貸付限度額は、給与月額の10分の1、20万円まで。利率は年9.96%、期間は2年以内です。

申し込みは、山口県労働金庫(中央3丁目労働福祉センタービル内)へ。詳細は、市商工観光課へ。

■ 歯科は県口腔センター 吉敷下東（3・1820）へ。9時から15時